

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和荘整備事業					事業コード	130208					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の活用				施策コード	912					
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所				所属長	井上浩人					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	三和荘等施設管理運営事業、三和地域活性化事業、三和支所施設管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和地域の交流拠点施設として、三和地域の住民や企業はもとより広く一般の方々が、より利用しやすくより気軽に訪れやすい施設とするため、施設や備品の改修を行っていくとともに、三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、修繕整備を行う。											
対象者	施設利用者	対象者数	60,000	単位あたりコスト	0.2							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	桑原建設株式会社、株式会社日匠設計、株式会社伊藤・梅原建築設計事務所											
事業概要 (箇条書き)	・三和荘テニスコート人工芝張替工事として三和荘テニスコート4面のうち2面の人工芝の張替を実施した。 ・三和荘改修に伴う設計を令和3年度繰越令和4年度で実施した。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	工事請負費	10,265	三和荘テニスコート人工芝張替工事									
	委託料	385	三和荘建築設備の定期報告業務									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	9,949	26,200	26,000	574,315					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	△ 10,000	10,000	0					
	前年度繰越	0	0	10,000	0					
	次年度繰越	0	△ 10,000	0	0					
小計(①～③)	9,949	16,200	36,000	574,315						
予算財源内訳	① 一般財源	4,482	200	200	133,115					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	16,000	35,800	439,800					
	⑤ その他特財	5,467	0	0	1,400					
決算情報	① 流充用額	△ 672	△ 5,535							
	② 配当予算	9,277	10,665							
	③ 執行額	8,113	10,650							
	④ 執行率	87.5%	99.9%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.31 / 0.04	0.33 / 0.04	0.33 / 0.04	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,580	2,740	2,740	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,693	13,390	2,740	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和荘整備事業(過疎対策)		種類	総務債	実績金額	10,200	決算付属資料	50	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	宿泊者数	人	5199 / 7000	3038 / 7000	3124 / 7000	/ 0	3000
利用者数	人	130683 / 150000	76275 / 150000	57343 / 150000	/ 60000	101000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	修繕及び改修等件数	件	11 / 2	16 / 12	1 / 5	/ 2	5
	単位あたりコスト		1417.0	507.1	10650.0		
	単位あたりコスト		/	1 /	/	/	三和荘整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘の施設運営に係わり、館内及び施設修繕等の経費であり、必要な経費である。 市民等の施設利用者から使用料を徴収している。 施設使用者の為に施設であり、運営を行う上で優先度は高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の運営状況をベースとして、特に新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度の運営状況をベースとして、必要な改修を実施し運営経費の削減を進める。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の施設の利用者数の実績を目標値として、宿泊者数、施設利用者数は、適切に把握されている。 新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツ施設の利用が減少しているなか、もっとも利用頻度の高いテニスコートの整備を実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化による緊急の修繕対応が課題である。 持続可能な運営や利活用の方法など、協議検討し計画を策定する必要がある。 地域交流拠点施設として公的機能の強化を図る。 三和荘の利便性を向上させるレストランと宿泊施設の改修と公的機能の強化を行う必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流拠点施設として平成17年に開設した三和荘を、指定管理者制度から市の直接管理へ移行する。三和荘を地域の交流拠点施設として存続していくために、三和地域公民館の移転、アネックス京都三和連携室の設置を行い、スポーツ施設や会議室と併せて公的機能の強化を図る。 三和荘の利便性を向上させるレストランと宿泊施設の改修と公的機能の強化を行うため、令和3年度繰越令和4年度事業である三和荘改修工事に伴う設計を行い、令和4年度内において改修工事を発注する。 スポーツ施設の照明の改修を計画的に進め、利用者の安全確保と集客増を図るとともに、消費電力の抑制及びゼロカーボン社会を目指す取組を行う。 三和町林業者等健康増進施設において損傷及び故障しているフロアシートの張替え、犬走や雨樋、換気装置及び排煙装置等を改修する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>令和4年4月1日からは、指定管理者制度による運営から直営の運営とする。</p> <p>スポーツ施設、多目的ホール、宿泊施設は、市が運営し、レストランについては、福知山市財務規則第200条等の規定を適用し、民間事業者により「複数年の行政財産の目的外使用許可」により運営する。宿泊施設については、業務委託として運営する。</p> <p>本運営方針に伴い、三和荘及び関連施設を「地域交流拠点」として、地域住民や立地企業をはじめ広く市民等が、利用しやすく、また気軽に訪れやすい施設とするため、施設の改修を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公用車集中管理事業					事業コード	810505					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の活用				施策コード	912					
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課				所属長	吉田和彦					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	電気自動車等導入事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	共有車両を集中管理することにより、効率的な運用を図り経費の節減を図る。また万一の事故等に対するスムーズな対応を図る。集中管理車両の適正な点検整備を行うことにより、走行中のトラブル等を未然に防止する。											
対象者	職員	対象者数	1,000	単位あたりコスト	6.9							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	共有可能な公用車の集中管理を行うことにより、公用車の効率的な利用、経費の節減を図った。集中管理車両の安全運行と万一の事故に対するスムーズな対応を図った。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	1,920	燃料費1,648千円、修繕料272千円									
	役務費	524	手数料157千円、保険料366千円									
	使用料及び賃借料	3,492	公用車賃借料3,492千円									
	公課費	45	重量税45千円									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,197	5,799	5,815	5,487				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	6,197	5,799	5,815	5,487					
予算財源内訳	① 一般財源	5,731	5,363	5,340	5,012				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	466	436	475	475				
決算情報	① 流充用額	△ 1,149	182						
	② 配当予算	5,048	5,981						
	③ 執行額	5,048	5,981						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,168	6,941	960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公用車広告収入	種類	雑入	実績金額	475	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公用車稼働率	%	43.76 / 45	43.88 / 45	41.07 / 45	/ 0	45
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	管理台数	台	18 / 18	18 / 18	19 / 18	/ 0	18
	単位あたりコスト		302.2	280.4	314.8		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	公用車集中管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	車両運行の効率化を図るため、公用車の共有化を行っている。 走行中の事故防止のため、公用車の適正な点検整備を行っている。 共有化により、計画的にEV課を進めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公用車の更新経費の節減、平準化と人件費の節減のため、平成27年度からメンテナンス付きリース車両を導入している。 今後も本市公用車の更新等に関する基準に基づき、共有車両のEV化等を計画的に進めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	共有車両の稼働時間等から車両ごとの稼働率を把握している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	当該事業の大きなウエイトを占めている燃料費の高騰が予算に直結する。 予約車両の使用終了後の予約の変更や取り消しを行わないことにより未稼働時間が生じている。		
改善策	燃料費の動向をみながら車両の適正な運用を図る。 システム等の導入により、稼働率を上げるための効率的な運用を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	財産管理事業					事業コード	810508					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	地方自治法237条 財務規則第212条ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	市有地販売事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	財源確保を図るため公有財産台帳システムデータ、財産管理主任を活用し、売却(貸付)可能資産を掘り起こす。 市有財産の状況を的確に把握し、公有財産台帳システムで正確な情報の管理を行う。 所管する財産について良好な状態を保つため、定期的に維持管理を行う。 財産管理を含む課の一般管理業務を行う。											
対象者	市民	対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店、(公社)福知山市シルバー人材センター											
事業概要 (箇条書き)	・公有財産台帳管理:システム保守料、機器使用料 ・普通財産の維持管理:除草、修繕工事、建物総合損害共済等 ・財産一般管理事務経費:旅費、消耗品、コピー機リース料											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	172	公用車燃料代、消耗品等購入費									
	役務費	270	郵送料、電話代、除草処分費									
	委託料	1,287	公有財産台帳システム保守業務、管理市有地除草業務等									
	使用料及び賃借料	2,154	公有財産台帳システム用パソコン賃借、複写機使用料、公用車賃借									
補償、補填及び賠償金	247	補償金										

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,974	2,884	2,844	2,884			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	2,974	2,884	2,844	2,884				
予算財源内訳	① 一般財源	2,077	1,387	1,186	1,226			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	897	1,497	1,658	1,658			
決算情報	① 流充用額	1,332	1,246					
	② 配当予算	4,306	4,130					
	③ 執行額	4,306	4,130					
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.56 / 0.60	1.76 / 0.60	1.76 / 0.60	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	13,980	15,580	15,580	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,286	19,710	15,580	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	岡地区財産収益金	種類	雑入	実績金額	64	46	頁
		線下補償料		雑入	1,666	48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	普通財産販売額	万円	2615 / 1200	11 / 1200	57 / 797	/ 1721	-
普通財産の除草箇所件数	箇所	7 / 7	5 / 5	5 / 5	/ 5	-	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	普通財産販売地掘起し(累積)件数	件	2 / 8	28 / 10	28 / 10	/ 10	-
	単位あたりコスト		1423.7	153.8	147.5		
	普通財産の除草回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	財産管理事業
単位あたりコスト		1423.7	2153.0	2065.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>公有財産台帳システムを整備・活用し、正確な財産の把握と適正な財産管理を行う事業である。</p> <p>市民の財産である市有財産について適切な管理・保全を行う事業であり、目的・目標の達成手段として適切で、優先度が高い。</p> <p>令和3年度予算は、公有財産台帳システム保守点検業務や管理市有地の管理、関連役務費、需用費等に充てられた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公有財産台帳システムを活用することで、より最適な資産活用を効率的に検討することが可能となっている。</p> <p>市有財産の維持管理については、物件ごとに状況を把握して除草回数等を考慮するとともに、業務委託についても内容を精査するなどコスト削減や効率化を図っている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>公有財産台帳の物件データを基に遊休資産の掘り起こしを行い、具体的な資産活用(売却・貸付)を検討することで、より効果的な財源確保を行う有効な事業である。</p> <p>所管する市有財産について、物件に応じて必要な維持管理を計画的に行う事業である。</p> <p>令和3年度予算は、公有財産台帳システム保守点検業務や管理市有地の管理、関連役務費、需用費等に充てられたため、売却、貸付の効率的な活用が図れた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>公有財産台帳システム及び財産管理主任を活用し、全庁的な未利用財産の洗い出しを進めている。</p> <p>また、市場ニーズを把握するため、未利用財産の物件情報を市ホームページで公表している。</p> <p>公有財産の各所管課に対して土地建物の正確な状況把握や整理を指示し、公有財産台帳システムへのデータ移行及び決算附属資料に反映した。</p> <p>需要(売買、賃貸)のあった物件について商品化(境界確定等)を行った。引き続き、未整理の物件については、計画的に売却が出来るように進める必要がある。</p> <p>管理市有地の除草や枯木の伐採等を行い、良好な環境の維持を行っている。</p>		
改善策	<p>計画的に遊休資産の売却を行ったため、新たに売却可能な物件を確保する必要がある。</p> <p>新たな物件確保のため、各所管課の利活用財産の洗い出しを更に進め、市場ニーズを把握した上で需要の高い物件を抽出し、売却や貸付を行う。</p> <p>市場の需要を探り、積極的に民間への貸付等を行うことで管理物件数を減らし維持管理経費の削減を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>・市所有の未利用財産について全庁的に洗い出した物件を精査し、売却・貸付可能財産の早期の処分をめざすとともに、引き続き未利用財産の掘り起こしを行う。</p> <p>・財産一般管理経費において増加傾向にある複写機使用料の削減に向け、不用な印刷をしないよう課内で徹底する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	岡地区公益事業基金積立事業					事業コード	810511					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	岡地区公益事業基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	岡地区公益事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	岡地区財産収益金を当該地区自治会の実施する公益事業資金に充てる目的で基金に積立を行う。その基金を岡地区公益事業に充て地元の財産である設備等の充実を図る。これにより地域価値を高め、地元を支える基盤を整えることに役立てていく。											
対象者	四岡地区住民			対象者数	1,613		単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	岡地区公益事業基金条例に基づき、岡地区財産収益金の100分の92に相当する額を基金に積み立てる。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	積立金	736			岡地区公益事業基金積立金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	736	736	0	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	736	736	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	736	736	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	736	736							
	③ 執行額	736	736							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	720	720	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,456	1,456	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	岡地区財産収益金		種類	雑入	実績金額	736	決算付属資料	46	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	単年度積立額	件	736 / 736	736 / 736	736 / 736	736 / 736	-
	単位あたりコスト		-	-	1.0		
	単位あたりコスト		/	7 /	/	/	岡地区公益事業基金積立事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	岡地区財産の収益金を基金に積み立て、地元の振興や安心安全に必要な事業に対して、岡地区公益事業の充実を図ることを目的とした事業である。令和3年度には東岡町で防犯灯のLED化を実施し、地域の安心安全を確保した。	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	各自治会で優先順位を整理して、岡地区の対象自治会の公益事業の資金として効率的に活用されるものである。	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	岡地区財産の収益金について効率的に各自治会に還元しているものであり、岡地区の対象自治会において、積極的に活用いただくよう努めている。令和3年度には東岡町で防犯灯のLED化を実施し、安心安全な地域づくりの推進に繋がった。これまでには、公民館用冷蔵庫、災害用保存食購入、照明設備の新設、資機材保管庫設置、AED設置等が実施されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	岡地区財産収益金を確実に地元自治会の実施する公益事業に使えるよう基金に積立を行うことが事業目的であり、収益金の92/100について確実に積立を行った。		
改善策	令和4年度からは、他事業へ統合する。(岡地区公益事業へ)		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度からは、他事業へ統合する。(岡地区公益事業へ)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 岡地区公益事業(R4~))
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	岡地区公益事業					事業コード	810513					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	岡地区公益事業基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	岡地区公益事業基金積立事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	岡地区財産収益金を積み立てた基金を、交付申請に基づき、当該地区自治会の財産である設備等の充実を図る。これにより地域価値を高め、地元を支える基盤を整える。											
対象者	四岡地区住民				対象者数	1,613		単位あたりコスト	0.7			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	岡地区公益事業基金条例に基づき積み立てた基金について、岡地区4自治会が実施する公益事業の資金に充てるため交付金を交付する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	435			岡地区公益事業基金交付金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	140	632	1,436	1,246							
	② 補正予算	0	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0	0							
小計(①～③)	140	632	1,436	1,246								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0	0							
	⑤ その他特財	140	632	1,436	1,246							
決算情報	① 流充用額	△ 6	△ 197									
	② 配当予算	134	435									
	③ 執行額	134	435									
	④ 執行率	100.0%	100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00							
	② 概算人件費	720	720	720	0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	854	1,155	720	0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	岡地区公益事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	434		決算付属資料	36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	交付金交付件数	件	3 / 3	1 / 1	1 / 2	/ 2	-
	単位あたりコスト		196.9	134.0	435.0		
	単位あたりコスト		/	9 /	/	/	岡地区公益事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	岡地区財産の収益金を基金に積み立て、地元の振興や安心安全に必要な事業に対して、岡地区の対象自治会からの交付申請(ニーズ)に基づき交付金を交付することを目的とする。 令和3年度には東岡町で防犯灯のLED化を実施し、地域の安心安全を確保した。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	各自治会で優先順位を整理して、岡地区の対象自治会の公益事業の資金として効率的に活用されるものである。	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	岡地区財産の収益金について効率的に各自治会に還元しているものであり、岡地区の対象自治会において、積極的に活用いただくよう努めている。 令和3年度には東岡町で防犯灯のLED化を実施し、安心安全な地域づくりの推進に繋がった。 これまでには、公民館用冷蔵庫、災害用保存食購入、照明設備の新設、資機材保管庫設置、AED設置等が実施されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	岡地区財産収益金を確実に地元自治会の実施する公益事業に使い地域の基盤を整えることが事業目的であり、必要な自治会は事業が実施できている。なお、岡地区財産の取扱いについては、地元協議が必要である。		
改善策	岡地区財産の取扱いについて地元協議をする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会への財産の譲渡に向け、南岡町自治会に認可地縁団体設立の依頼を継続するが難航している。協議は継続する。 ・岡地区財産の収益金からなる基金の繰入による交付金であり、該当自治会が実施する令和5年度公益事業計画に基づき、その必要額を予算要求する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公民連携事業					事業コード	810529					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント基本方針、基本計画、後期実施計画、個別施設計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「公共空間」と「民間事業者による利活用」のマッチングを促進し、公共施設をビジネスにつながる魅力的な空間とするための仕組みづくりや新たな公共サービスの提供等を推進することによって、公共施設に関するコスト削減や将来にわたっての市民の負担軽減と行政サービスの充実を図り、持続可能な自治体運営を促進する。											
対象者	市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.8							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社京都銀行、合同会社まちみらい											
事業概要 (箇条書き)	・廃校活用を検討する民間事業者を発掘し、事業実現につなげるための取組を実施 内容：廃校マッチングバスツアー、地域アイデアワークショップ、アイデアブラッシュアップワークショップ、地域住民との意見交換会 等 ・民間事業者からの提案により未利用公有財産の活用実現を図る「公共施設マネジメント民間提案制度」を制度構築 ・廃校の施設のみならずソフト面の活用事業として、「廃校備品販売会」「廃校図書譲渡会」を開催											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	105	指定管理者制度第三者評価委員会 委員報酬									
	報償費	215	プロボナザル外部有識者への報償費、指定管理職員研修の講師謝礼									
	需用費	2,804	廃校の活用開始にあたっての水道等インフラ、危険箇所等の修繕業務									
	委託料	32,285	廃校の公共囑託登記、現況平面測量、不用品処分、京都銀行・合同会社まちみらいへの委託業務									
旅費、役員費、使用料、負担金	165	指定管理者制度第三者評価委員実費弁償、漏水調査手数料、高速道路等通行料、研修参加負担金										

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,145	34,930	16,930	24,696				
	② 補正予算	0	4,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	13,145	38,930	16,930	24,696					
予算財源内訳	① 一般財源	7,184	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	5,961	0	6,600	10,500				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	38,930	10,330	14,196				
決算情報	① 流充用額	△ 4,174	△ 3,235						
	② 配当予算	8,971	35,695						
	③ 執行額	8,971	35,575						
	④ 執行率	100.0%	99.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.52 / 0.40	3.07 / 0.40	3.07 / 0.40	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	21,160	25,560	25,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,131	61,135	25,560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公民連携事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	30,676	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	活用実現した施設の敷地面積	m ²	/		19426 / 31627	56243 / 40806	/ 39258
指定管理者制度の制度改良	件	/		1 / 2	2 / 2	/ 2	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	サウンディング参加事業者	者	/	69 / 50	31 / 40	/ 40	-
	単位あたりコスト			130.0	1147.6		
	指定管理者制度第三者評価委員会	回	/	3 / 3	2 / 2	/ 3	公民連携事業
単位あたりコスト			2990.3	17787.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>市民や社会のニーズが多様化する中で、自治体において公共施設マネジメントと新たな公共サービスの提供等を推進するためには、行政と民間事業者の「共創」による事業実現が不可欠である。</p> <p>その中でも、廃校をはじめとする大規模施設の活用は公共施設マネジメントにおける「質のマネジメント」を達成するために特に優先度が高く、市民の関心も高いものである。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」(オンライン)に参加し、国の制度を活用して効率的に本市の未利用公有財産をPRした。</p> <p>「廃校リノベーションバージョンアッププログラム」では、参加者が実際に本市の廃校活用に取り組むよう工夫を図って開催し、実際の廃校活用の実現につながっている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>廃校活用の実現や、指定管理施設のあり方見直しを踏まえた新たな施設運営を実現することができている。</p> <p>先行事例を調査・研究し、本市の実情に応じた事業となるよう工夫を重ねており、随時募集型プロポーザルやトライアル・サウンディング、随意契約保証型民間提案制度といった新たな工夫・制度を計画するとともに、その制度の運用を着実にやっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和3年度は、廃校活用において4校の民間利用、1校の行政利用で施設の方向性が確定した。</p> <p>廃校マッチングバスツアーや備品販売会、みんなの廃校プロジェクト等により、民間事業者に本市の未利用公有財産の活用に関する姿勢を情報発信し、現地視察等につながっている(視察事業者:延べ11者)。廃校マッチングバスツアー(対象:旧有仁小、旧美鈴小、旧美河小)には、22事業者(31名)が参加。また、その後の2回のワークショップにも、延べ23事業者(34名)が参加した。</p> <p>「廃校備品販売会・図書譲渡会」では、多くの参加者に加え、2件のテレビニュースにも取り上げられシティプロモーションに貢献することができた。</p> <p>指定管理者制度では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休業支援について早期に支援を実施した。また、民間事業者による運営で今後のあり方を整理している宿泊・観光型の施設については、三和荘及び関連施設、大江山鬼瓦工房等において今後の方向性が決定した。</p> <p>指定管理者制度は、制度導入の際の手続きや事務処理について留意が必要であり、今後も適正な管理運営に係る指導等が継続的に必要である。</p> <p>宿泊・観光型の指定管理施設のあり方見直しにおいては、継続的に施設所管課への助言等を行い、今後の方向性を整理しなければならない。</p>		
改善策	<p>廃校活用に関して、より事業実現の可能性の高い民間事業者を発掘するために京都銀行の阪神地区支店で企業の経営者層を対象とした廃校活用セミナー・商談会を実施するなど、新たな工夫を取り入れながら事業展開を図ることとしている。</p> <p>また、令和3年度に制度構築した未利用公有財産の活用を図る「随意契約保証型民間提案制度」を具体的に運用するため、同制度の推進に係る専門部会を立ち上げて施設所管課とともに取組を進め、廃校のみならず本市全体の公有財産について、価値の最大化を図っていく。</p> <p>あり方の見直しを行っている宿泊・観光型の指定管理施設の活用に向けて、引き続き民間事業者との対話を行い、施設活用事業の実現につなげる取組を進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度をもって廃校活用に一区切りをつけるとともに、施設のサプリースの実現等により活用事業を更に推進し、施設価値の向上を図る。 指定管理者制度については、あり方検討対象施設をはじめとして、今後も適正な管理運営に係る指導等を継続的にを行い、民間活力の導入を図る。 廃校活用の取組を踏まえ、令和5年度においては、中規模以下の遊休資産の活用に向けた「遊休資産商品化推進事業」により更なる事業展開を検討している。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市有地販売事業					事業コード	810541					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70・72	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市普通財産売払事務取扱要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	財産管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民や事業者に対して、市有地販売等を行うことにより、歳入を確保し財政の健全化に資することを目的とする。											
対象者	市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	3.2							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター、(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会											
事業概要 (箇条書き)	・大規模遊休施設である廃校施設を公募型プロポーザル方式により事業者を選定し、貸付契約を図る。 ・利用の見込みのない未利用財産を隣接所有者に売却を図る。 ・売却益は、公共施設等総合管理基金、福知山市鉄道網整備及び関連都市計画事業基金に積み立て、各事業の財源に充当する。 ・購入需要の高い普通財産販売市有地の除草を行い、良好な環境の維持に努める。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	226	消耗品費購入費									
	役務費	422	電話料、通信料、広告料									
	委託料	459	市有地除草業務、工事測量設計業務									
	工事請負費	23,361	駐車場整備工事									
積立金、公課費	203,216	公共施設等総合管理基金積立ほか										

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	94,925	208,724	276,690	315,513			
	② 補正予算	0	24,317	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	94,925	233,041	276,690	315,513				
予算財源内訳	① 一般財源	27,354	27,088	7,156	16,108			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	67,571	205,953	269,534	299,405			
決算情報	① 流充用額	△ 8,355	△ 5,357					
	② 配当予算	86,570	227,684					
	③ 執行額	86,570	227,684					
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.03 / 0.00	2.23 / 0.00	2.23 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	16,240	17,840	17,840	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	102,810	245,524	17,840	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	創出土地売払収入	種類	不動産売払収入	実績金額	13,096	34	頁
		土地建物貸付収入		財産貸付収入		2,370	32	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	売払い金額	百万円	127 / 204	49 / 115	84 / 67	/ 141	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	売払い件数	件	9 / 13	3 / 8	4 / 4	/ 12	-
	単位あたりコスト		14326.3	28856.7	56921.0		
	単位あたりコスト		/	13 /	/	/	市有地販売事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>市有地を商品化し、販売等を実施するために必要な事業である。市場ニーズを把握し、販売や貸付を実施することにより財源確保を行う事業である。令和3年度には市有地販売の広告や市有地の管理、駐車場整備工事を実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>市有地販売事業の事業予算には、平成28年度から公共施設等総合管理基金積立が含まれている。公共施設等総合管理基金積立は、市有地の売却や貸付による収益を積立、計画的に公共施設マネジメント事業に充当するものであり、公共施設マネジメントの推進に不可欠で、重要な取り組みとなっている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>令和3年度は、市有地販売を促進するため、積極的な広告宣伝と販売市有地の適正な商品として維持管理を実施した。また、高低差があり活用できなかった土地を新たな収益物件とするために駐車場整備を行った。貸付より売却することが有効である場合は、積極的に売却に向けて条件整備を行った。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>市有地及び公共施設マネジメントを推進することにより創出された土地について積極的に売却を行った。売却することにより収入について、公共施設等総合管理基金に積み立て、マネジメント計画実施の財源することができた。引き続き、大規模遊休施設である廃校施設の活用や土地開発公社継承土地、創出土地の積極的な売却を行い、売却収入と固定資産税収入による財源確保に取り組んでいく必要がある。売却が進まない物件については、必要に応じて価格を見直すなど販売促進に向けて対応する必要がある。</p>		
改善策	<p>従来は、土地上に建物が存在する場合、建物を解体し、更地化して売却してきたが、必要に応じて、建物付きの土地としての売却や老朽化した建物について解体条件付き売却等を実施することにより、歳入の抑制と市場のスピード感等の需要に対応した売却方法を採用する。大規模遊休資産である廃校については、引き続きサウンディング市場調査により民間のニーズを的確に把握し、それらに即応した貸付及び売買を迅速に行い早期の利活用を図る。全庁的な未利用・低利用物件の洗い出しを更に進め、売却・貸付可能物件の公表をすることにより市場ニーズを把握した上で民間での利活用に繋げる。市有地の売却が進まない物件については、民間不動産業者との媒介契約や販売条件の整備等創意工夫を行い、販売の促進を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き公社継承土地ほかの商品化の取組みを強化し、積極的に売却や貸付を行い、財源確保に努める。 廃校の用地整理事務を市有地販売事業で実施、及び市有地販売について民間不動産会社の媒介委任による販売を引き続き実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	旧福知山医師会館跡地駐車場整備事業						事業コード	410396				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課				所属長	足立 正信					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	財源を確保するため、旧福知山医師会館の跡地を有効活用する。											
対象者	全市民				対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会											
事業概要 (箇条書き)	・撤去後の跡地を駐車場に整備する工事を行う。 ・境界確定業務を完了する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	1,207		境界確定業務								
	工事請負費	2,875		旧福知山医師会館跡地駐車場整備工事								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	9,521	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	△ 5,423	5,423	0	
	前年度繰越	0	0	5,423	0	
	次年度繰越	0	△ 5,423	0	0	
小計(①～③)	0	4,098	5,423	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	4,098	5,423	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	0	4,098			
	③ 執行額	0	4,082			
	④ 執行率	0.0%	99.6%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	0	480	480	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,562	480	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	整備進捗率	%	/	/	/	60 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	整備完了		/	/	60 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト				68.0		
	単位あたりコスト		/	15 /	/		

旧福知山医師会館跡地駐車場整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき境界確定及び工事を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	入札を行い、契約を締結し、業務を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	立会や近隣等との立会や対話等を適切に行い、円滑に実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	近隣地権者とも十分対話の上行っており、理解が得ながら、境界確定、工事の契約を実施した。		
改善策	当該自治会、周辺地権者との対話を行うなど、理解の上、事業を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	駐車場の整備が令和4年度で完了するため。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	昭和新町駐車場管理事業						事業コード	810498				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	R4現在の状況		継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本事業は、(財)福知山市開発公社の解散に伴い、本市に移管された昭和新町226番地ほか4筆の利活用を図るため実施している。当該公有地については、最終的な活用方針が決定するまでの間、月極駐車場として管理運営する。											
対象者	駐車場利用者				対象者数	5		単位あたりコスト	63.2			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)シルバー人材センター											
事業概要 (箇条書き)	・(財)福知山市開発公社の解散に伴い本市に移管された昭和新町月極駐車場の貸付料収納及び払込と維持管理を(社)福知山市シルバー人材センターへ委託している。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	委託料	76			昭和新町駐車場管理業務							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	106		93		80		80						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)	106		93		80		80							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	106		93		80		80						
決算情報	① 流充用額	△ 30		0										
	② 配当予算	76		93										
	③ 執行額	76		76										
	④ 執行率	100.0%		81.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.14	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	1,120		240		240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,196		316		240		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(産業観光課)			種類	財産貸付収入		実績金額		19		32		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	駐車場利用区画数	区画	7 / 12	8 / 12	5 / 12	/ 10	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	駐車場新規利用区画数	区画	0 / 0	2 / 0	0 / 0	/ 5	0
	単位あたりコスト			38.0			
	単位あたりコスト		/	17 /	/	/	昭和新町駐車場管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	現状として、土地の有効活用による財源確保の面からも継続した事業展開が必要である。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	利用者の利便性及び財源の確保が図れる。	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	最終的な活用方針が決定するまでの間の活用方法として実施している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	駐車場として貸付を行うことで、活用方針が決定するまでの土地を活用できた。		
改善策	最終的な活用方針が決定するまでの間、新規貸し出しはせず、現在の利用者のみ引き続き同一条件により駐車場として貸付を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き駐車場として管理を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中村団地建替事業					事業コード	530141				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用				施策コード	912				
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文				
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	府営中村団地の建替事業の完了に伴う用地整理										
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会										
事業概要 (箇条書き)	府営中村団地の建替事業の完了に伴う用地整理										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	3,377	測量設計・施工監理業務等								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,500	3,382	0	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	3,500	3,382	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	3,500	3,382	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0					
	② 配当予算	3,500	3,382	0	0					
	③ 執行額	1,501	3,377	0	0					
	④ 執行率	42.9%	99.9%	0.0%	0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.20 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,600	2,800	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,101	6,177	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料	実績金額	3,377	決算付属資料	12	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	登記業務	箇所	0 / 0	0 / 0	1 / 1	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	登記業務	箇所	0 / 0	0 / 0	1 / 1	0 /	
	単位あたりコスト		/	19 /	/	0	
	単位あたりコスト		/	19 /	/	0	中村団地建替事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	遊休地となつてい市営住宅跡地を整理し、用地販売を促進する。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	用地販売による収益が見込める。また、登記業務委託料は、単価契約により毎年見直しが実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	有効な土地利用をはかるため用地販売を促進している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	用地整理を行うことにより、有効な土地利用と収益が見込まれる。		
改善策	用地整理の完了により、有効な土地利用と収益を見込み、用地販売等検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	建替事業が完了したため。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	公共施設除却事業(市営住宅)					事業コード	530165					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の活用				施策コード	912					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	用途廃止した市営住宅の解体及び跡地整理、既存不要地等の用地整理を行う。											
対象者	市民			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、福知山環境センター企業組合ほか											
事業概要 (箇条書き)	猪崎府営住宅跡地ほか、市営住宅用地の用地整理(嘱託登記) 譲渡(中田団地)、換地(府営中村団地住宅用地)に係る不動産鑑定 用途廃止住宅内残置動産処分(門垣) 用途廃止住宅解体工事(門垣)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	委託料	2,808			測量設計・施工監理業務等							
	工事請負費	4,090			工事請負費							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	6,195	2,250	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	0	6,195	2,250	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	6,195	2,250	0					
決算情報	① 流充用額	0	873	326						
	② 配当予算	0	7,068	2,250						
	③ 執行額	0	6,898	2,576						
	④ 執行率	0.0%	97.6%	114.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	2,800	2,800	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	9,698	5,376	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料	実績金額	6,898	決算付属資料	12	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	建築物解体	棟	/	/	/	2 / 2	0 / 0
譲渡	戸	/	/	/	0 / 2	0 / 0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	登記業務	箇所	/	/	2 / 2	2 / 2	
	単位あたりコスト				3449.0	1288.0	
	単位あたりコスト		/	21 /	/		

公共施設除却事業(市営住宅)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	用途廃止され老朽化の著しい市営住宅を解体し、周辺環境の改善を図る。また、遊休地となっている市営住宅跡地を整理し、用地販売を促進する。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	用地販売による収益が見込めることや、2棟をまとめて工事発注する等コスト削減に配慮を行った。また、登記業務委託料は、単価契約により毎年見直しが実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	老朽化した市営住宅を解体し、周辺環境の改善を図るとともに、有効な土地利用をはかるため用地販売を促進している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	老朽化による危険住宅を解体することにより、周辺環境の改善が図られ、用地整理を行うことにより有効な土地利用と収益が見込まれる。		
改善策	用途廃止となり老朽化した危険な市営住宅を解体し、周辺環境の改善を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	旧三岳山の家管理事業						事業コード	610109			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の活用				施策コード	912				
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R4現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	H27.3月をもち施設の運営を停止したが、地域価値向上を図る施設として利活用するため、その間の施設の最適な維持管理を行う。										
対象者	—				対象者数	—		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	三岳地区自治会(施設周辺除草作業)										
事業概要 (箇条書き)	H18年から指定管理者制度により運営してきたが、H26年10月の指定管理者の募集に際して応募が無く、H27.3月をもって施設の運営を停止、閉館(条例廃止・普通財産)した。 施設の活用方法が決定するまで、必要最小限の経費をもって、施設の適正な維持管理を行う。 ・草刈業務										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	役務費	43			建物共済保険						
	委託料	199			施設周辺草刈業務、本館棟瓦破損による応急対応						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	194		193		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	194		193		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	180		179		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	14		14		0		0		
決算情報	① 流充用額	13		50						
	② 配当予算	207		243						
	③ 執行額	207		242						
	④ 執行率	100.0%		99.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.15	/	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,200		1,360		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,407		1,602		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(旧三岳青少年山の家)		種類	教育使用料		14		12	
		実績金額			決算付属資料				頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	管理(周辺除草)	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2
	単位あたりコスト		244.5	103.5	121.0		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	施設の活用方法が決定するまでの、施設維持管理は必要であり、建物周辺の草刈など必要最低限の施設管理を実施した。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	地元自治会に草刈を委託している。現地の雑草等の生育状況を把握でき、適切な時期に草刈指示が実施可能である。また、施設及び市有地である周辺部の現地状況を熟知(隣接地との境界や優先範囲)し、急傾斜地等で安全に業務を行うことが可能であり、適切な維持管理を行えている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	地元自治会の協力のもと、適切な形で施設の維持管理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者等による施設活用等について、関係部署と協議を進めているが、結論に至っていない。 また、令和3年度に利活用について3件問合せ・提案があったが、関係課と協議の結果、その後の発展には至らなかった。 老朽化が進み毎年修繕費が増加傾向となっている。令和3年度は、本館屋根の修繕を行った。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者等による施設活用等について、各関係課・関係機関と協議し、活用をする場合の利用内容の調整も同時に進める必要がある。(現段階では、土地は賃借、建物は移譲する方針が出ている。)また、施設の老朽化が進行しているため、利活用の可否を判断し、施設の解体等を検討する必要がある。 令和4年度より、旧三岳山の家管理事業を生涯学習一般管理事業に統合する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 生涯学習一般管理事業(R4~統合))
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	北陵地域公民館整備事業					事業コード	630171				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	2 地域価値向上を図るための公有財産の活用				施策コード	912				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	浅田 久子				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	辺地総合整備計画			R4現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	北陵地域公民館一般管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	平成30年7月豪雨により被災し、解体することとなった北陵地域公民館を新たな地域の拠点として公民館や地域福祉・住民活動、さらに広域避難所に活用し、安心・安全性を確保した施設として新築・整備する。施設全体のバリアフリー化や太陽光発電システム・蓄電システム等を備えた避難所とするとともに、再生エネルギーを活用したSDGsに貢献できる高機能な地域公民館として整備を行う。										
対象者	北陵地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	76,037		単位あたりコスト	3.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)堀通信、舞台照明CREW・SOLOOK										
事業概要 (箇条書き)	北陵地域公民館新築工事 北陵地域公民館新築に伴う電気設備工事 北陵地域公民館新築に伴う駐車場整備工事 北陵地域公民館新築に伴う備品購入 Wi-Fi機能整備業務 北陵地域公民館修繕工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	111		案内看板修繕ほか							
	委託料	3,233		通信ネットワーク整備業務、竣工記念式典に係るパイプテント等の搬入設置・撤収業務							
	工事請負費	231,222		新築工事、電気設備工事、駐車場等整備工事							
	備品購入費	4,603		設備備品(調理室ほか)							
負担金補助及び交付金	102		電気メーター設置工事負担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		207,000		0		0		
	② 補正予算	46,000		0		0		0		
	③ 繰越予算	△ 29,400		46,000		0		0		
	前年度繰越	16,600		46,000		0		0		
	次年度繰越	△ 46,000		0		0		0		
小計(①~③)	16,600		253,000		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		95		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	16,600		244,900		0		0		
	⑤ その他特財	0		8,005		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 3,782						
	② 配当予算	16,600		249,218						
	③ 執行額	9,874		239,271						
	④ 執行率	59.5%		96.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.25 / 0.35	0.15 / 0.40	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,875		2,200		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,749		241,471		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北陵地域公民館整備事業(辺地対策)		種類	教育債	176,500		実績金額	54	頁
		北陵地域公民館整備事業(辺地対策)(進次繰越分)			教育債	46,000			54	
		北陵地域公民館整備事業基金繰入			基金繰入金	13,972			40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	北陵地域公民館R4.4.1開館	棟	0 / 0	0 / 0	1 / 1	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	北陵地域公民館新築工事他完了	件	0 / 0	0 / 1	5 / 5	/	5
	単位あたりコスト		/	25 /	/	/	北陵地域公民館整備事業
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館役員、福祉関係、地元のニーズを反映し新築工事で整備し、地域住民の生涯学習、福祉、住民自治、避難所等の地域の核施設として、他に公的施設を有さない北陵地域に必要不可欠な施設整備である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光電力設備により使用電力料金が抑えられる。 複合施設として整備することで住民の利便性の向上が図られる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の生涯学習、福祉、住民自治など地域コミュニティの拠点施設として使用できる。 有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんが安全安心かつ快適に利用できる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度内に北陵地域公民館の新設工事等が完了した。 地域住民の生涯学習、福祉、住民自治、避難所等の地域コミュニティの新たな拠点施設。施設全体のバリアフリー化及びWi-Fi環境整備、SDGsの観点による照明のLED化や太陽光発電システム、避難所機能として蓄電システムやV2H機器等を整備した高機能な施設となっている。 令和4年度から地域住民のコミュニティ拠点として有効活用を図る。 令和3年度内に北陵地域公民館整備事業が完了したので、令和4年度から北陵地域公民館一般管理事業で点検・維持管理などの業務を実施する。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から北陵地域公民館一般管理事業で維持管理等の業務を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業完了

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 北陵地域公民館一般管理事業(R4~統合))
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------